

東日本大震災に学ぶ

2011年3月11日 東日本大震災、あの日から2年が経ちました。被災した東北の人々の心と姿に触れ、また、私たちに何ができるのか考えてみましょう。

特別授業 3.11

君たちはどう生きるか

あさのあつこ 他/著 河出書房新社

【369 ト】

国語：あさのあつこ **理科**：最相 葉月
歴史：池澤 夏樹 **経済**：橘木 俊詔
倫理：鷲田 清一 **保険**：斉藤 環
地理：鎌田 浩毅 **課外授業**：田中 優
政治：橋爪大三郎

東日本大震災から何を学び、どう生きるか、これから未来をつくる君たちへ、9教科の大先生による「生きる」の特別授業の本です。



おもかげ復元師の震災絵日記

るい 笹原留似子/著 ポプラ社
 【369 サ】

東日本大震災で大きな哀しみと苦しみを抱えた岩手県陸前高田市の人々の心や姿、そしておもかげを振り返りながら、感じたこと、思ったことを、筆者が絵日記にした本です。



あきらめずに支えあって生きていけば必ず勇気とやさしさにつながっていく、と感ずることができる一冊です。

地震イツモノート

阪神・淡路大震災の被災者167人にきいたキモチの防災マニュアル



地震イツモプロジェクト/編 木楽舎
 【369 ジ】

「地震の瞬間は何もできない」を知っておく事はとても重要です。この本は、大地震の実体験をもとにした「いざ」というときのためのアイデアが満載の防災マニュアル本です。

地震の多い国に暮らす私達が、**いつも、どこでも**できる備えと心構えが載っています。

3.11

あの日のこと、あの日からのこと

震災体験から宮城の子ども・学校を語る

みやぎ教育文化研究センター/編
 かがわ出版 【369 サ】

3.11、大震災で何もかも失くした宮城の子どもたちや町の人々の、あの瞬間そしてそれからの事が綴られています。

命の尊さと、人と人との絆の大切さ、そしてどんな時も希望を持って生きることを教えてくれる本です。

